



令和7年
12月定例会概要

議会だより

やとみ

No.
80

2026年
2月9日発行

YATOMI CITY Council Report



たすきに思いをつないで

関連ページ：P 24

目次

議案審査 P2~4
 議案等の賛否状況一覧 P5
 所管事務調査(視察報告) P6

ズバリ聞きます!一般質問 P7~22
 所管事務調査(委員会質問) P23
 おしらせ P24

発行 ● 弥富市議会 編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335番地

☎(0567)65-1111

FAX(0567)67-4011



【議案の審査内容】

○議案第 55 号「弥富市手数料条例及び弥富市行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料条例の一部改正について」

問 多くの公文書は電子データで作成されている。紙媒体をやめ電磁的記録（CD-R 等）によるデータ交付導入の考えは。

答 他市の状況を調査・研究していく。

○議案第 56 号「弥富市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について」

問 公平中立な意思決定は担保できるか。

答 社会教育機関であることに関わりなく、教育委員会と連携していく。

○議案第 58 号「弥富市総合社会教育センター条例等の一部改正について」

問 値上げの根拠は。

答 受益者負担の原則に基づき、急激な人件費や物価の高騰を受け、社会情勢に適切に対応し条例改正を提案している。



▲総合社会教育センター

○議案第 59 号「弥富市まちなか交流館条例の制定について」

問 フリースペースや屋外テラスを利用する際の使用料は。

答 一定の時間占有する場合、面積に応じて徴収する。

問 個人が自由に利用する際の使用料は。

答 使用料はかからない。

問 産業会館はいつから使用できないか。

答 令和 8 年 7 月から使用中止。

問 利用者の代替場所は。

答 市民ホール利用者は、市役所大会議室、他施設の会議室等を利用。



▲まちなか交流館イメージ図

○議案第 61 号「弥富市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

問 市内での当該事業の実施予定や、民間事業者の参入相談はあるか。

答 市内では十四山保育所での実施を予定している。
民間事業者からの参入相談は現時点ではない。

○議案第 66 号「十四山障害者生きがいセンターの指定管理者の指定について」

問 利用者資格を生活介護へ移行後も、市社会福祉協議会を指定管理者とする理由は。

答 利用者の混乱を避け、円滑な事業移行を図るため。

問 生活介護移行に伴い、人員体制は確保できるか。

答 看護師は週 5 日で 1 日 2 時間、嘱託医は月 1 回の配置を想定し、速やかに確保を進める。

○議案第 68 号「デイサービスセンターの指定管理者の指定について」

問 指定管理者の選定方法とその理由は。

答 利用者への影響が大きく、継続性を重視する必要があり、非公募とした。

問 現在の指定管理者を選定した理由は。

答 実績と信頼性を重視した。

問 指定管理者から報告書等の提出はあるか。

答 毎月の数値報告および利用者アンケートの結果が提出されている。

問 組織的な確認、評価は行っているか。

答 過去 5 年間の書類を確認し、適正な運営と判断している。

○議案第 70 号「弥富市駅前広場条例の制定について」

問 近鉄弥富駅南口のポケットパークの面積および全面使用時の使用料は。

答 全体面積は約 523㎡。
市内在住、通勤または通学者が、営利目的としない利用での使用料は、1㎡あたり 1 時間 5 円で算定し 2,610 円。

問 当日以外の準備等に要した利用時間の考え方は。

答 利用当日以外に準備や撤去等を行う場合は、準備等に要した利用時間の使用料を加算。

なお、詳細は規則等で定めるが、夜間などイベント等を開催していない時間帯は、使用料を加算しない予定。



▲近鉄弥富駅前ポケットパーク

○議案第 71 号「弥富市下水道使用料等審議会条例の制定について」

問 下水道使用料の適正化に関し、使用料改正は算定方法も含めて審議するのか。

答 一般的に、使用料対象経費の算定、使用料体系の設定およびその負担の妥当性など審議する。

問 審議会委員は10人程度で「優れた識見を有する者」とあるが、専門性の高い公営企業会計で、どのような委員構成か。

答 学識経験者をはじめ、市長が必要と認める者で、専門性や地域性などが公正かつ均衡の取れた者。

問 どのような将来像を描いた条例制定か。

答 市の下水道事業の将来像は、弥富市総合計画、弥富市汚水適正処理構想及び経営戦略に示される。本条例の制定は、下水道事業の経営健全化に向けた取組の一環。

○議案第72号「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第8号）」

問 財政調整基金から6,274万6千円を取り崩すと、基金現在高はどの程度になるか。

答 令和6年度末現在高の約16億9千万円から、今回までに計上されている繰入金の予算額を全て差し引くと、残高は約12億9千万円となる。

問 債務負担行為補正で「弥富市観光協会補助金」が計上されている理由は。

答 ここ2年間の桜の開花状況を鑑み「やとみ桜まつり」は令和8年4月4日と5日に、「夜桜ライトアップ」は4月1日より開催するため、令和7年度中に契約等を行い、令和8年度に支出が生じるため。



▲夜桜ライトアップ

問 ふるさとやとみ応援寄附金および企業版ふるさと納税寄附金が増額補正された理由は。

答 ふるさとやとみ応援寄附金は、年度途中における寄付実績が当初の見込みを上回ったこと、また、企業版ふるさと納税寄附金は、4社から寄付を受け入れたため。

問 「サウンディング調査委託料」は、なぜ当初予算に計上しないのか。その調査内容は。

答 調査対象が令和7年10月まで未確定であったことから、上野グランドの利活用方法を検討するため、マーケットサウンディング調査を実施し、利活用に関する事業者等の意向や可能性を把握するため。

問 体育施設整備工事請負費が、328万8千円増額となる理由は。

答 海翔高校グランド跡地は、県と施設管理運営委託契約を令和7年12月25日に締結し、令和8年3月1日から市内団体に無償で貸し出す予定。契約は1年ごと。工事請負費は、仮設トイレの設置および給水管の引込工事、防球ネットの設置のため。



▲旧海翔高校グランド

問 教育費で、委員報酬100万円を計上しているが、委員の職務内容と報酬額、委員構成は。

答 「いじめ問題専門委員会」の運営にあたり、専門的知見を有する委員に対し、委員1人当たり1日2万円の報酬を支給。委員は計5人で、構成は弁護士、内科医師、臨床心理士および学識経験者2人。

○議案第74号「令和7年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第3号）」

問 通所型サービス事業支給費の601万9千円が増額になった理由は。

答 通所型サービスCの施設が増え、利用者も増加したため。

○議案第75号「令和7年度弥富市下水道事業会計補正予算（第1号）」

問 当初予算で水道料が46万2千円に対して、30万円を増額する理由は。

答 猛暑により、^{ひろおおみ} 広大海浄化センターで、真空ポンプを冷却する水が適正な温度まで下がらず、水タンク内に水道水を入れたため。



▲広大海浄化センター

○議案第80号「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第9号）」

問 賠償金に関連し、市側の弁護士費用はいくらか。

答 弁護士着手金は税込で1審が55万円、2審が22万円。その他の経費は現在、調整中。

問 賠償金10万7千円は、どのように支払うか。

答 今後検討する。

問 裁判の敗訴確定に伴い、過大徴収していた固定資産税の返還分はこの予算に含まれていないのか。

答 税の過払い分の返還に関する予算は、含まれていない。

【討論】

反対 佐藤仁志議員

可決 議案第 54 号

組織の看板をかけ替えるのではなく、業務の正常化と現場のひずみを解消することが必要。緊急時に組織としての強靭さを保つことができない。組織の効率化を損ない、職員の負担を増大させ、市民サービスの低下を招く。

反対 板倉克典、加藤明由議員

可決 議案第 55 号

賛成 横井克典議員

多機能端末機は任意取得であるマイナンバーカードを所持する市民しか利用できず、所持しない市民との間に手数料の差ができる。デジタル化の時代に、記録媒体での写し交付の検討も行わない中での手数料値上げには反対。

討論

物価上昇や社会情勢の変化を踏まえ、行政サービスの適正負担を確保し、市民利便性の向上と行政運営の効率化を図る妥当な改正である。また、業務効率化や待ち時間短縮、行財政改革やデジタル行政推進にも資する施策である。

反対 佐藤仁志、板倉克典議員

可決 議案第 56 号

賛成 横井克典議員

教育行政の自主性確保、時の権力者からの中立が必要であり、教育委員会の所管のまま連携は可能。専門職の配置がおろそかになり、本来の資料保存や教育的機能が損なわれる懸念がある。

討論

まちなか交流館リニューアルを契機にまちなか交流課を新設し、図書館・歴史民俗資料館管理や文化財保護を一体的に所管することで、施策の迅速化や柔軟な施設運営を可能とし、地域活性化や文化資源活用に寄与できる。

反対 加藤明由議員

可決 議案第 57 号

選挙ポスター作成費の公費負担単価を4千円超に引き上げるが、津島市では2,306円で運用できている。上限額に近い請求を行う業者により、無駄な公費支出が増大する。

反対 板倉克典議員

可決 議案第 58 号

賛成 横井克典議員

使用料の改定は市場の原理と同じ関係に置き換えようとするもので、市民の所得格差を考慮すべき。売り上げ重視で、社会情勢を即反映させる公共施設使用料の改定は反対。

討論

「公共施設使用料適正化方針」に基づき、市民負担の公平性の確保と行財政運営の本来の目的に立ち返るもの。総合社会教育センターはじめ13施設の見直しや市外・営利利用の区分、人件費・維持管理費を踏まえた使用料設定が行われている。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 59 号

賛成 横井克典議員

拙速で、まちづくりの哲学が欠如している。既存施設との全体計画がなく、無駄な重複。真の交流の視点もない。市民不在の計画は一度白紙に戻し、市民の視点でゼロから議論し直すべき。

討論

本施設は、市民の交流・情報発信拠点として設置され、交流多目的スペース、図書館、歴史民俗資料館を一体的に活用し、地域文化や観光振興等に寄与する。また、使用料の設定により受益者負担を確保し、持続可能な運営も図れる。

反対 那須英二議員

可決 議案第 60 号

規制緩和により、施設環境や職員体制が不十分な事業所が増えるリスクがある。乳幼児の安全確保が最優先であり、危険を伴う安易な緩和をすべきでない。

反対 那須英二議員

可決 議案第 61 号

「こども誰でも通園制度」に関する設備・職員基準の適用除外は本市に整合しない。事故リスクを高め、子どもの安全を後退させる恐れがある。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 72 号

賛成 横井克典議員

サウンディング調査の業者委託は談合や利益誘導の温床となる恐れがあり、高校跡地活用も密室での決定で不誠実、かつ特定団体の独占が懸念される。公正さと透明性を欠く。

討論

旧海翔高校のグラウンドを団体等が利用できる体育施設として整備するため、仮設トイレ設置や給水管工事、防球ネット設置など、安全利用に必要な経費として328万8千円が増額計上されている。

反対 加藤明由議員

可決 議案第 76 号
議案第 77 号

議員の期末手当は1回で100万円を超える。物価高騰や災害で市民が困窮している中、議員や特別職がさらなる追加手当を受け取る必要性には疑問がある。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 80 号

国家賠償金の計上は、市の違法行為の決定的な証拠である。控訴で事態を悪化させた市長らの責任は重大であり、汚点への自覚もなく進退等のけじめを求める。市民感覚として到底容認できない。

12月定例会 議案等の賛否状況一覧 (11月26日議決)

会 派 名		議決結果	公明党	日本共産党	新しい風やとみ	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派			
議案番号	件 名		堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	佐藤仁志	加藤明由	平野広行	早川公二	高橋八重典	加藤克之	江崎貴大	横井克典	平居ゆかり	鈴木りつか	柴田英里	伊藤千春	
市長提出議案																			
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会 議案等の賛否状況一覧 (12月23日議決)

会 派 名		議決結果	公明党	日本共産党	新しい風やとみ	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	
議案番号	件 名		堀岡敏喜	小久保照枝	那須英二	板倉克典	佐藤仁志	加藤明由	平野広行	早川公二	高橋八重典	加藤克之	江崎貴大	横井克典	平居ゆかり	鈴木りつか	柴田英里	伊藤千春	
市長提出議案																			
議案第54号	弥富市部設置条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	弥富市手数料条例及び弥富市行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	弥富市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第57号	弥富市議会の議員及び弥富市長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	弥富市総合社会教育センター条例等の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	弥富市まちなか交流館条例の制定について	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	弥富市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	弥富市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	-	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	弥富市児童厚生施設条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	弥富市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	弥富市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	障害者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	十四山障害者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第68号	デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第69号	南デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第70号	弥富市駅前広場条例の制定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第71号	弥富市下水道使用料等審議会条例の制定について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第72号	令和7年度弥富市一般会計補正予算(第8号)	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号	令和7年度弥富市土地取得特別会計補正予算(第1号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第74号	令和7年度弥富市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	令和7年度弥富市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第77号	弥富市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	弥富市職員の給与に関する条例及び弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第79号	弥富市短時間勤務会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第80号	令和7年度弥富市一般会計補正予算(第9号)	可決	-	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第81号	令和7年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第82号	令和7年度弥富市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第83号	令和7年度弥富市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案																			
発議第3号	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書の提出について	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に加わらない。

【視察報告】

【静岡県菊川市産業支援センター・EnGAWA】

総務建設委員会では令和7年10月24日、産業支援センター「EnGAWA」を視察しました。創業・事業承継・経営改善支援を行う地域経済の拠点であり、地域との連携と課題に応じた相談環境の充実を確認しました。

菊川市の行政・民間連携と地域意見の施策反映が効果的で、高い実効性を感じました。本市では、創業支援に偏りがあり、まちづくりに向けた連携不足が課題です。産業振興施策は「体系的、計画的」であるべきとの考えから、今回の視察をとおして本市の産業振興に活かしていきます。



▲産業支援センター「EnGAWA」



▲菊川市役所での視察の様子

【千葉県船橋市役所】

厚生文教委員会では令和7年11月4日船橋市役所にて本市で喫緊の課題である「保育士確保と定着促進」に関し、具体的な施策の説明を受けました。船橋市は「人への投資」を政策の中心に据え、処遇改善や若手保育士が安心して生活できる居住支援、将来的に市内で働き続けられるような奨学金制度の組合せや、高校生への広報活動など長期的な人材確保につなげています。今回の視察をとおして本市の保育士確保に活かしていきます。



【千葉県松戸市・児童養護施設「晴香園」^{はるかえん}】

厚生文教委員会では令和7年11月5日「ショートステイ事業など子育て支援体制」の課題解決に取り組まれている松戸市の児童養護施設「晴香園」を視察しました。子ども家庭センターの運営体制、ショートステイ事業、保護者のリフレッシュ支援など先進的取組の説明を受けました。喫茶室やキッズルームを備え、家庭的環境の中で生活指導・学習支援を実施していました。行政・教育・地域・民間が連携する仕組みについて、本市における今後の子育て支援や福祉施策に活かしていきます。





ズバリ聞きます!!

一般質問

二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問が直接ご覧いただけます。ぜひご覧ください。

|| 市政を問う 15 議員が登壇

一般質問は、議員が市政全般に関して、執行機関にその執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項などについて質問をすることをいいます。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

議員名	件名	頁	議員名	件名	頁
柴田英里	①短期集中型の予防サービスを ②自転車の安全対策は	8	那須英二	①隠れ待機や給食費の適切対応を ②いじめゼロへの取組を	16
早川公二	①戦略的な企業誘致を ②チョイソコの利便性向上へ	9	加藤克之	①防災のための体育館空調整備を ②社会教育センターの防災強化を	17
平野広行	①産廃処理施設火災への対策は ②ヤード対策への取組は	10	鈴木りつか	①中学生自転車通学の安全確保を ②生成 AI の教育利用を安全に	18
伊藤千春	①カスタマーハラスメント対策を ②事業者への支援は	11	江崎貴大	①公助で自助、共助力の向上を ②共助力向上へ消防団加入促進を	19
横井克典	①副市長答弁は事実誤認では？ ②第三者委員会設置で事実解明を	12	加藤明由	① JR 弥富駅事業は解約し中止を ②孫宝土地改良区の職務権限は	20
平居ゆかり	①公共事務機器のスリム化を ②産廃問題隣接地域のフォローを	13	佐藤仁志	①非公式な指名除外は法令違反では ②口頭指示で記録や決裁がないが	21
小久保照枝	①福祉避難所にストーム保管を ②エンディングサポート事業を	14	高橋八重典	①深刻な農業問題と対峙せよ	22
板倉克典	①スマイル教室をやめないで ②新名鉄弥富駅北口にタクシーを	15			



柴田 英里 議員 無会派

問 短期集中型の予防サービスを

答 継続的に生活機能の維持改善へ

問 通所型サービス C の概要は。

答 **健康福祉部長** リハビリテーション専門職などの指導のもと、6カ月間の短期間に集中して運動機能の向上を図る介護予防サービス。

問 目的は。

答 専門職の関与を得て、短期間で生活機能の改善を図ること。

問 利用現状と過去の推移は。

答 令和6年末までに164人が利用。給付実績は、令和3年度36件、令和4年度258件、令和6年度

499件、令和7年9月末322件と増加傾向である。

問 サービスを継続するための課題は。

答 専門職の確保等の観点から、事業者からは単価の見直しを求められている。

問 単価の見直しは。

答 検討する必要があると考える。



問 自転車の安全対策は

答 安全教室の開催などで啓発

問 ※自転車安全利用五則の徹底を図るための具体的な取組は。

答 **市民生活部長** 中学校では、愛知県警察第一交通機動隊による自転車教室の開催など。

問 市内の交通事故発生状況は。

答 死亡事故2件、重傷者12件、軽傷者253件。(令和7年10月末現在)

問 対策は。

答 緊急の交通安全メッセージの発信など。

問 課題は。

答 夕方の自転車の安全利用が課題。

問 自転車ヘルメット着用の現状は。

答 県全体16.5%、尾張地域17.7%で微増。

問 課題は。

答 自転車利用者の交通安全意識の浸透が課題。

問 自転車安全教育の現状は。

答 保育所から小中学校に対しては自転車安全教室を実施。

問 課題は。

答 車両との衝突事故を減らす教育が課題。

問 道路交通法改正による自転車の「ながらスマホ」の罰則強化は。

答 携帯電話の画面を注視した場合、6カ月以下の懲役または10万円以下の罰金。

問 地域住民に向けた講座やイベント開催への考えは。

答 毎年、海部南部交通安全総決起大会を開催。また、福寿会等に交通安全教室等を実施。



※自転車安全利用五則



▲愛知県警ホームページより

早川 公二 議員

無会派



問 戦略的な企業誘致を

答 アンケート調査など分析し推進

問 企業誘致の推進はどのように行っているか。

答 (産業振興課長) 令和6年度に企業誘致の先進地である多治見市を訪問し、意見交換などを行った。現在、アンケート調査や未利用地のアイデア募集を実施している。

問 今までの実績は。

答 実績には至っていない。

問 今後どのような戦略を立て、進めていくか。

答 市街化調整区域地区計画ガイドラインの見直しや企業の支援策などを検討していく。

問 企業誘致をする用地は十分にあるか。

答 公共施設の跡地や未利用地の開発を検討している。また、県企業庁と共に工業系土地利用の開発検討を進めている。

問 東部北部地区で、企業誘致が可能な用地を確保していく考えはあるか。

答 (市長) 南部地区約12haにおいて愛知県企業庁とともに、工業系土地利用の開発検討を進めている。それが終わり次第、次の候補地として東部北部地区で企業庁に要望し、新しいエリアを求めていきたい。



問 チョイソコの利便性向上へ

答 成果を検証し改善を重ねる

問 現状の会員登録者数は。

答 (市民生活部長) 令和7年11月末時点で3,279人。

問 問題点はあるか。

答 「予約が希望時間に取れない」「日曜日に運行してほしい」「遅い時間帯まで運行してほしい」などの意見がある。

問 課題への対応は。

答 予約件数を平準化することで、北部東部エリアの予約枠を広げられないか考えている。日曜日の運行や時間帯の延長はアンケートなどを参考に検討する。

問 増車できないか。

答 公共交通活性化協議会で運行計画の見直しを検討していく。

問 近鉄蟹江駅を目的地に設置できないか。

答 移動時間が予測できないため現状は難しい。

問 利便性向上へ市長の考えは。

答 (市長) 多様な層の会員が利用しやすい環境を整備し、実証実験の成果を検証し改善を重ねていく。



▲チョイソコやとみ出発式

【その他の質問】

・クローバーテレビ視聴率向上へ



平野 広行 議員 無会派

問 産廃処理施設火災への対策は

答 チェック機能を高めていく

問 産業廃棄物とは。

答 市民生活部長 事業活動に伴って生じた廃棄物。

問 市内の産業廃棄物中間処理施設数は。

答 弥生地区 1、大藤地区 2、栄南地区 7、十四山地区 2 施設。

問 これまでの産廃処理施設での火災発生件数と原因は。

答 総務部長 直近 5 年間で 12 件。たき火、溶断機、切断機、電気機器などが原因。

問 蓄熱火災とは。

答 重ねられている廃棄物の量に比例して熱は大きくなるため発火、火災の原因となる現象。

問 令和 7 年に発生した稲荷地区の火災消火活動に従事した消防団員数は。

答 53 人。

問 消火時間は。

答 約 6 時間。

問 費用および団員のけが等の有無は。

答 出勤報酬 42 万 4 千円。けが等はなし。

問 産廃処理施設の火災対策に対し、市長の考えは。

答 市長 海部南部消防組合と連携を取り、指導を行っていく。



▲堆積した資材

問 ヤード対策への取組は

答 連携して予防対策に努める

問 ヤードとは。

答 市民生活部長 愛知県条例では「自動車解体の用に供する施設又は場所」をいう。

問 本市のヤードに対する認識は。

答 さまざまな作業内容のヤードがあり、市民生活の安全安心が損なわれないか危惧している。

問 ヤード火災の認識は。

答 総務部長 自動車解体中に火災が発生しており危惧している。

問 全国自治体でのヤード条例の制定目的と条例制定自治体数は。

答 市民生活部長 再生資源物の屋外での堆積や保管を規制するもの。全国 22 自治体。

問 産業廃棄物中間処理事業とは。

答 廃棄物の減量やリサイクル可能な状態にする事業。

問 自動車ヤード事業とは。

答 自動車の解体や部品の保管を行う事業。

問 スクラップヤード事業とは。

答 使用済みの物品や再生資源を屋外で堆積や保管を行う事業。

問 ヤード火災発生に対する取組への市長の考えは。

答 市長 海部南部消防組合をはじめ関係機関と情報共有し、連携して予防対策に努める。

伊藤 千春 議員

無会派



問 カスタマーハラスメント対策を

答 県条例踏まえ基本方針を策定

問 愛知県カスタマーハラスメント防止条例とは。

答 総務部長 就業者が安心して働ける環境を整えるため、国、市町村、事業者、就業者、顧客等が一体で取り組む条例。

問 国と市町村等が一体となった取組とは。

答 事業者は予防策、就業者は適切な対応、顧客は冷静な行動が求められる。

問 カスタマーハラスメント事案に該当する内容は。

答 暴言や脅迫、長時間拘束など社会通念上不相当な言動が該当する。

問 本市職員を保護する取組は。

答 名札表記の見直しや研修実施で、職員の保護と対応力向上を図っている。

問 精神的被害への対応は。

答 業務中断や専門職への相談を行い、再発防止に取り組む。

問 条例制定の計画は。

答 県条例を踏まえ、本市としての基本方針を策定していく。



問 事業者への支援は

答 県の相談窓口を活用

問 中小企業者に対する支援制度は。

答 産業振興課長 県の相談窓口を活用し、事業者のカスタハラ対策を支援する。

問 具体的な啓発活動は。

答 県作成のポスター等を活用し、市民や事業者へ周知する。



▲愛知県カスタマーハラスメント防止条例の二次元コードと啓発ポスター



横井 克典 議員 無会派

問 副市長答弁は事実誤認では？

答 事実と異なる内容はないと認識

○適正な指名業者選定事務について、以下を問う。

問 令和6年の指名審査委員会で、副市長からA社を指名から外す指示はあったか。

答 (副市長) 記憶にない。

問 副市長の発言を証言している職員の発言は虚偽か。

答 本意ではないが、職員がそう受け取ったなら反省しなくてはならない。

問 令和7年は建設部長から、A社の指名除外を確認する発言はあったか。

答 (総務部長) 記憶にない。

問 建設部長の発言を証言している職員の発言は虚偽か。

答 (副市長) 本意ではないが、職員がそう受け取ったなら反省しなくてはならない。

指名競争入札（設計（建築））における指名回数表 (単位：指名回数)

順位	事業者名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (1-12月)	合計	令和5年度 (1-3月)	令和5年度 (4-6月)	令和5年度 (7-9月)	令和5年度 (10-12月)	合計
1	A社	3	8	12	6	29	29	0	0	0	11
2	B社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
3	C社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
4	D社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
5	E社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
6	F社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
7	G社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
8	H社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
9	I社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
10	J社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
11	K社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
12	L社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
13	M社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
14	N社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
15	O社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0
16	P社	3	8	12	6	29	0	0	0	0	0

(横井克典作成・愛知県電子調達システムより)

問 第三者委員会設置で事実解明を

答 設置する予定はない

問 A社は、入札参加資格資料で評価が下がったか。

答 (副市長) 一業者のため答弁できない。

問 A社所長との打ち合わせで、副市長が「令和6年1月から指名を除外してきたことを、この場で納得してもらえれば、指名の再開を検討する」と発言したことは事実か。

答 指摘の趣旨の発言はなかったと記憶しているが、検討するという発言はした。

問 A社所長と財政課長から、副市長のこの発言はあったと証言を得た。それでも、副市長は虚偽ではないと断言するのか。

答 先ほどの答弁と同じで、検討するという発言はした。

問 市長は、A社所長や副市長はじめ関係者から事実確認を行ったか。

答 (市長) 行っていない。

問 調査をせずに副市長答弁をなぜ肯定するのか。

答 事実確認はできないが、副市長の答弁どおりである。

問 事業者から指名の業者選定に関する苦情等はないとする答弁に間違いはないか。

答 (副市長) 隔たりはないと考える。

問 A社所長から「今後、市から指名がなければ、何らかの行動を起こす」と発言はあったか。

答 (財政課長) 発言はあった。



平居 ゆかり 議員 無会派



問 公共事務機器のスリム化を

答 複合機を優先に検討し更新する

問 市民が事務機器を利用できる公共施設は。

答 〔教育部長〕 総合社会教育センター、白鳥コミュニティセンター、TKE スポーツセンター。

問 使用できる「市民」とは。

答 自治会、コミュニティ推進協議会、スポーツ協会、文化協会等の団体。

問 利用枚数や料金は。

答 枚数に制限はなく、料金も無料。

問 印刷機とコピー機の使い分けの基準は。

答 20枚まではコピー機、それ以上は印刷機。

問 コストメリットを最大限に生かすため、各施設で枚数規定の設定に違いを持つべきでは。

答 異なるルールは利用者を混乱させる恐れがあり、現状どおり運用したい。

問 複合機一本化の考えは。

答 白鳥コミュニティセンターでは、一本化も視野に入れ最適な運用となるよう進める。

問 全庁的な事務機器の今後の在り方は。

答 〔総務部長〕 更新の際は、多くの機能を持つ複合機を優先に検討。



問 産廃問題隣接地域のフォローを

答 関係機関と連携し対応を依頼

○本市と隣接する愛西市の産廃置き場について、以下を問う。

問 法的な見解は。

答 〔市民生活部長〕 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の不適正案件。廃棄物扱いのため、宅地造成及び特定盛土等規制法は適用されない。

問 傾いた塀の危険性に対してできることは。

答 愛西市と県民事務所環境保全課に連絡し、情報提供や事案への対応を依頼。

問 西側と北側の狭あい道路の危険性に対する連携と対応は。

答 〔土木課長〕 県民事務所環境保全課からは是正の指導。愛西市も状況によっては対策を検討。

問 安全確保への相談窓口は。

答 〔市民生活部長〕 本市または、県民事務所環境保全課。

問 具体的な住民支援は。

答 関係機関と情報共有し、当該事業所に指導等を行う。

問 本市の認識と対応は。

答 〔市長〕 関係法令に基づいた指導や監視等を依頼したが、改善が見られない。今後も関係機関と連携して適時適切な対応に努める。



▲堆積された産業廃棄物（本市隣接の愛西市地内）



小久保 照枝 議員 公明党

問 福祉避難所にストーマ保管を

答 実施に向け検討していく

問 市内※1 ストーマ装具使用者の人数は。

答 健康福祉部長 105人。

問 ストーマ装具を事前に保管する仕組みを整備する考えは。

答 先進自治体と同様であれば事前保管は可能。今後実施に向け検討。

問 個別支援物品の事前登録、保管制度の導入を検討する考えは。

答 対応することは困難。原則、自助の範囲で対応を勧める。

問 地域の薬局や医療機関、メーカーとの連携による物資確保や配送支援の仕組みは。

答 ストーマ装具に特化した市内の取扱店に打診し、災害時の供給体制を構築していく。

※1 排泄物を溜めるパウチ袋と皮膚に貼る面板からなる専用のケア用品。

問 福祉避難所の機能強化と制度整備は。

答 市長 災害時において※2 オストメイトはじめ、障がい者医療ケアを必要とする要支援者が安心して避難できる体制の構築は、本市の重要な使命であると考えている。

※2 病気や事故が原因で、腹部に「ストーマ（人工肛門、人工膀胱）」という排泄のための穴を造設した人のこと。

取り外した状態

取り付けた状態



問 エンディングサポート事業を

答 事業化に向け協議を行う

問 身寄りがなく、死後の手続きに不安を抱えている人の実態を、どう把握しているか。

答 健康福祉部長 ケアマネジャー、地域包括支援センター、海部南部権利擁護センター、社会福祉協議会などで把握し、成年後見制度の活用につなげている。

問 死後事務委任契約の支援や、実務的なサポートにつなげる制度の導入は。

答 地域にあったエンディングサポート事業を検討し、国の動向も参考に事業化に向け協議していく。

問 市長の見解を。

答 市長 身寄りのない高齢者も住み慣れた地域で安心して暮らすことを目指す。



【その他の質問】

・実用性のある物価高騰対策を

▲名古屋市あんしんエンディングサポート事業

板倉 克典 議員

日本共産党弥富市議団



問 スマイル教室をやめないで

答 事業見直しにより決定した

問 スマイル教室の廃止は、莫大な予算がかかる JR 名鉄弥富駅橋上駅舎化に向けたコスト削減の一環か。

答 (健康福祉部長) 事業開始から 10 年で、市のニーズに合った介護予防、生活支援サービスの見直しを行い事業終了とした。

問 スマイル教室をやめずに継続を。

答 継続の予定はない。

問 加齢性難聴者への補聴器購入助成の考えは。

答 引き続き国等へ要望していく。

問 後期高齢者医療健康診査で、認知症の検査を市の検診として実施する考えは。

答 生活習慣病や心身機能低下の予防事業を進めるため、導入は考えていない。

問 介護予防事業の意義は。

答 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営み、健康寿命を延ばすことが豊かな老後に繋がるものと考えます。



問 新名鉄弥富駅北口にタクシーを

答 情報提供を行っていく

問 近鉄弥富駅前のタクシー不足をどう認識しているか。

答 (健康福祉部長) 介護高齢課窓口でもタクシーの予約が取れないと聞いており、市民の移手段不足を認識している。

問 新しくなる JR 名鉄弥富駅北口では、どのタクシー会社が乗り入れ予定か。

答 (都市整備課長) 今後、事業者と協議していく。

問 名鉄弥富駅北口に名鉄タクシーを誘致する考えは。

答 駅前広場整備の進捗状況により情報提供を行っていく。

問 令和 6 年度の高齢者等福祉タクシー料金助成利用券の総配布枚数は。

答 (健康福祉部長) 4 万 1,364 枚。

問 総使用枚数は。

答 1 万 2,902 枚。

問 福祉タクシーの申請依頼をタクシー会社に行っているか。

答 令和 7 年 11 月に 3 社に問い合わせたが、運転者不足や事業所から遠いなどの理由で断りを受けた。

問 高齢者等福祉タクシー料金助成事業の意義は。

答 高齢者の日常生活を容易に行い、福祉の増進を図ることを目的とし、介護予防を期待するもの。



▲近鉄弥富駅南口タクシーのりば



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 隠れ待機や給食費の適切対応を

答 職員の体制を整えていく

問 発達支援施設などへの通所で、保育所を利用しない日の分まで給食費を負担している。日数に応じた負担へ見直す考えは。

答 **市長** 所長会等でルール決めができれば、進めたい。

問 保育所給食の一食あたりの実質単価はいくらか。

答 **健康福祉部長** 一食当たり 270 円程度。

問 土曜日午後保育の現状は。

答 令和 7 年 4 月から 10 月までの延べ利用児童数は 199 人で、一日当たりの平均利用児童数は 7 人程度。

問 希望する保育所に入れず実質的に入所できない「隠れ待機児童」を把握しているか。

答 把握している。

問 対策は。

答 理解を得るよう努めていく。



問 いじめゼロへの取組を

答 いじめ見逃しゼロを目指す

問 小中学校におけるいじめの認知件数は。

答 **教育部長** 令和 4 年度 99 件、令和 5 年度 139 件、令和 6 年度 139 件。

問 児童生徒間トラブル時の初期対応をどのように改善するか。

答 さまざまな角度から意見を交わすことで、より良い対応に努めていく。

問 いじめに発展することを防ぐための指導は。

答 誤った理解で児童生徒を追い込むことを回避するよう努めている。

問 スクールカウンセラーとの連携強化と体制整備は。

答 カウンセラーが児童生徒の様子を観察し、それを担任等に伝える体制の整備を進めている。

問 子どもの自主性を大切にしたい人権教育などの取組は。

答 外部の講師から、人との関わり方や命の大切さ、思いやり等の気持ちを育む取組を行っている。

問 SNS 相談などを検討しているか。

答 SNS で相談できる窓口を複数紹介している。

問 学校任せにしない市主導のいじめ対策は。

答 困ったときに相談できるスクールソーシャルワーカーとの環境づくりを進めている。



【その他の質問】

・学校体育館に早期エアコンの導入を

加藤 克之 議員

無会派



問 防災のための体育館空調整備を

答 令和 12 年度までに完了予定

問 日の出小学校に隣接するおみよし松北側にある旧テニスコートの利用状況と今後は。

答 〔教育部長〕テニスコート利用者や日の出小学校行事の際、保護者駐車場として今後も利用。

問 小中学校の体育館に空調整備計画は。

答 令和 9 年度から整備を始め、令和 12 年度までには完了予定。

問 小中学校に熱中症対策として、給水対応を考えては。

答 重要な課題であると認識しているが、現段階では、学校が備蓄しているペットボトル等に対応する。

問 市制 20 周年で、日の出小学校にある復興ピアノを活用して、子どもフェスタを開催しては。

答 〔教育長〕復興ピアノは、震災で学んだ教訓を風化させることなく、次世代に受け継ぐことが、大人世代の大事な使命と考える。子どもフェスタの開催には、大いに賛同し支援する。



▲日の出小学校に寄贈された復興ピアノ

問 社会教育センターの防災強化を

答 令和 9 年度に空調整備を実施

問 総合社会教育センターの防災対策強化は。

答 〔教育部長〕令和 4 年度から令和 5 年度にかけて、アリーナ特定天井撤去改修工事をし、令和 7 年度に、中央公民館ホール特定天井撤去改修工事をを行う。

問 総合社会教育センターの備蓄品の状況は。

答 〔総務部長〕段ボールベット、間仕切りパーティション、各種仮設トイレ、紙おむつ、生理用品、蓄電池、ガスコンロ、大型扇風機、各種感染症対策品等を配備している。

問 排水を浄化して繰り返し使用できる災害用浄水器の導入を検討しては。

答 高額な費用と専門的な維持管理が必要であり、現在 40 カ所ある指定避難所の運営体制を考えると、導入は困難である。

問 防災拠点である総合社会教育センターに空調を整備する計画は。

答 〔教育部長〕令和 8 年度に設計し、令和 9 年度に工事を実施する。



▲特定天井撤去改修工事が完了した中央公民館ホール



鈴木 りつか 議員 無党派

問 中学生自転車通学の安全確保を

答 交通安全指導と通学環境の改善

○中学生の自転車通学の安全確保について、以下を問う。

問 現行のルール、安全指導の内容は。

答 **〔教育部長〕** 安全装備が正常に機能しているか確認し、ヘルメット着用、通行区分、並進禁止、夜間のライト点灯等を指導。

問 地域住民からの苦情への対応は。

答 住民から寄せられた声を共有し、該当生徒へ指導。

問 令和8年4月1日の道路交通法改正が通学に与える影響は。

答 自転車の交通ルールがより明確化され違反行為への指導が強化される。

問 法改正を踏まえた指導内容の見直しは。

答 危険行為の具体的例示を挙げ、指導を行う。

問 生徒および保護者への周知や地域連携による安全指導の充実は。

答 PTAとの連携など、家庭、地域、学校が一体となり、通学環境の改善に努める。



イメージ

問 生成 AI の教育利用を安全に

答 安全性確保とルール整備が必要

○生成 AI の教育利用について、以下を問う。

問 国の方針を踏まえた検討状況は。

答 **〔教育部長〕** 児童生徒の学習利用、教職員の業務効率化、校務導入の具体的な運用策を整理する。

問 不適切利用の予防策は。

答 利用範囲の明確化、フィルタリング機能の活用、ログ管理などの対策。

問 安全運用のためのルール整備は。

答 学校側でアカウント管理、個人情報を入力しない等のルールを徹底。

問 ※ AI リテラシー教育の進め方は。

答 生成 AI の特性や限界、情報の真意を見極める力、著作権や個人情報保護など情報モラル教育を通じて指導できるよう教員研修を行う。

問 業務 DX の推進は。

答 活用環境の整備を進める。

問 市長の見解は。

答 **〔市長〕** 教育の質向上と業務効率化の可能性があるが、安全で適切な利用環境やルールの整備が必要。国の方針に沿い、慎重かつ前向きに活用を進める。

※人工知能（AI）を正しく理解し、仕組みや特性、課題を知った上で、安全かつ主体的に活用する力を育てる教育。



イメージ

江崎 貴大 議員

無会派



問 公助で自助、共助力の向上を

答 地域防災力の向上を推進する

問 自主防災会と自治会、町内会との関係は。

答 〔総務部長〕 補完関係にあり、連携により地域防災力が向上する。

問 市の防災施策と地域の防災活動との整合性の確認は。

答 自主防災会全体会、防災ワークショップ、講座を通じて防災施策や地域の取組を共有している。

問 防災意識の高い住民の意欲を波及させる取組は。

答 「海部地方防災リーダー養成講座」の募集、防災ワークショップ全体会での先進事例発表等で市内全体の防災意識向上に努める。

問 自主防災組織等が運営する届出避難所の考えは。

答 地域から事前届出された避難所を登録することで、迅速な避難行動が確保できる。制度導入に向け研究していく。

問 コミュニティ防災訓練の助言や改善策は。

答 地域からの提案を基に、助言等を行い、各コミュニティが主体的に訓練内容を検討、実施している。



問 共助力向上へ消防団加入促進を

答 改善策を検討し魅力を向上する

問 若年層の消防団参加の課題認識は。

答 〔総務部長〕 仕事や学業との両立の難しさ、地域との関わり方の変化などが参加しにくい要因。

問 学生消防団活動認証制度の活用状況は。

答 現在は導入していない。

問 認証制度を周知、啓発しないか。

答 導入団体は年々増加傾向にあり、今後制度導入に向け調査研究していく。

問 「あいち消防団応援の店」消防団員カードの電子化の周知と活用状況は。

答 市消防団分団長会で周知。
市消防団登録者数は 24 人。

問 災害時に活用可能性のある免許取得に対する補助の考えは。

答 導入は考えていない。

問 消防団企業優遇制度の趣旨をどのように認識しているか。

答 事業所の消防団活動への協力が広く地域に貢献していることを認定する「消防団協力事業所表示制度」であり、県が制度導入を推奨している。

問 消防団企業優遇制度を導入する考えは。

答 導入に向けて進める。



（電子表示）
▲電子化された消防団員カード



▲消防団協力事業所表示



加藤 明由 議員 新しい風やとみ

問 JR 弥富駅事業は解約し中止を

答 適切に事業を進めている

問 JR 弥富駅に建てた電柱の工事写真は公開できるか。

答 都市整備課長 公開できない。

問 できない理由は。

答 提出資料対象外であるため。

問 名鉄の工事代金の値上げはないか。

答 概算総額の増額はないが、物価変動等で変更の可能性はある。

問 名鉄への対応は。

答 引き続き、工事費削減項目を検討。

問 令和7年1月21日付けの設計変更通知書の内容を把握し、現地確認をしたか。

答 資料で確認している。現地確認は規定がないため、進捗状況の確認時に行っている。

問 具体的な工事内容と金額は。

答 雨量計ケーブルの移設で51万3千円。

問 この50万円の工事費は、実際の工事内容と異なるのでは。

答 JRに確認済み。雨量計設備移設としてケーブルの移設を行ったもの。

問 配線の移設に50万円は異常に高い。市長の見解は。

答 市長 国の定めたルールに基づき、適切に事業を進めている。



▲ JR 弥富駅構内の雨量計

問 孫宝土地改良区の職務権限は

答 事務局より承諾を得たもの

問 孫宝排水土地改良区が管理する水路に、土砂の投棄を承諾できる法的権限を有する関係者は誰か。

答 産業振興課長 孫宝排水土地改良区事務局に対し工事内容を説明し、承諾を得ている。

問 土砂が宝川の川底に流れるが問題はないか。

答 必要な工事であり、問題ない。

問 福田川は7千万円の税金で浚渫している。右の写真に対する市長の感想は。

答 市長 福田川は、堆積土砂があったため浚渫している。宝川については課長の答弁どおりである。



▲福田川の浚渫工事

佐藤 仁志 議員

新しい風やとみ



問 非公式な指名除外は法令違反では

答 法令違反に該当しない

○公式な文書による指名停止の周知がないまま事実上の無期限指名停止処分が継続している。行政手続法に基づく不利益処分の反論ができる。裁量権の逸脱濫用に当たる。A社の指名が年平均で8回から0回に激変したのは作為的な排除意思がなければ統計的には起こり得ない、A社の経営状況や資格確認に変化はない。

問 この事実上排除してる非公式な指名除外が法令違反に当たるとい認識があるか。市長の答弁を求める。

答 **総務部長** 非公式な指名除外は、法令違反に該当しない。

問 市長に再度答弁を求める。

答 **副市長** 選定要領の基準、技術的適合性や実績などに基づき、担当課が選定し、審査会で決定している。



問 口頭指示で記録や決裁がないが

答 不適正であれば懲戒処分の対象

問 市有地（農地）に特定の業者が残土を入れており根拠となる決裁文書や契約書の確認を求めた際、建設部長は「文書はないが、部長権限で口頭で依頼した」と回答。仮に、ガラや産業廃棄物、有害物質が出た場合、市長はこの「事業者等に対して口頭の指示や依頼だけで記録が残されていないケース」を組織の管理監督者として、どのように認識し当該職員にどのような対処や指導をするのか、市長の答弁を求める。

答 **総務部長** 事案ごとに記録の必要性を判断し、事務処理を行っている。職員には服務規律の徹底を指導しており、不適正な事務処理があれば懲戒処分の対象になりうることを周知している。



▲近鉄弥富駅付近の市有地（農地）



高橋 八重典 議員
無会派

問 深刻な農業問題と対峙せよ

答 健全な維持と発展を図る

- 問** 生産者、消費者ベースで米価は適正か。
- 答** 〔産業振興課長〕判断できない。
- 問** 農業振興地域整備計画アンケートの趣旨は。
- 答** 長期的観点から農業振興の方向と整備計画の構想を定めるための基礎調査。
- 問** 9年間改訂しなかった理由は。
- 答** 大規模開発に係る事案がなかったため。
- 問** 実態にそぐわないアンケートでの改訂か。
- 答** 計画作成のための基礎資料の一部である。
- 問** 離農と就農の現実をどう認識しているか。
- 答** 農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地などの諸問題がある。
- 問** 本市の農業ポテンシャルに対する見解は。
- 答** 〔市長〕都市近郊という立地や優れた交通アクセスを生かし、都市型農業や集約的な施設園芸が発達している。
- 問** 農地転用後目的外使用が起こす重大事案に対するリスクマネジメントは。
- 答** 〔市民生活部長〕リスクは起こるものと仮定し、リスクの顕在化影響の軽減策を普段から準備し、実行することが大切と考える。
- 問** 国、県を巻き込んだリスクマネジメントが必要では。
- 答** 県や近隣自治体の関係部署、警察署や消防署等の関係機関を含めた情報交換会等を開催し、協力体制を強化していく。
- 問** 本市の考える農業と優良農地保全のスタンスは。
- 答** 〔市長〕農業は認定農業者等の担い手を中心に、多様な人たちの判断と実行で営まれるもので、優良農地は地域との調和に配慮し農業利用され则认为る。



▲廃業金魚池（手前）と転用済農地（奥）



▲優良農地（手前）と転用済農地（奥）

所管事務調査

所管事務調査とは？

常任委員会が自主的に調査事項（テーマ）を設定し、その委員会が所管する事務について行う調査です。

本市議会では、新たな議会改革の取組として、市民意見の反映と政策立案機能強化のため、令和7年4月から所管事務調査を実施しており、会期中、閉会中を問わず、各委員会の専門性を発揮した政策提案や提言を目指し、委員間協議や行政視察など活発な調査活動を行っています。

調査結果は、所管事務調査報告書を議長へ提出し、本会議で報告します。

■総務建設委員会

◇総務建設委員会は、産業振興をテーマに調査を進めています。令和7年11月10日の委員間協議会で課題を共有し、同月19日に閉会中の継続審査として委員会を開催しました。

問 市の産業振興施策は体系的に整理されておらず、個別支援にとどまっている。今後、総合的な視点での産業振興ビジョンの策定などを考えているか。

答 産業構造や地域の特性を踏まえ、体系的な施策展開の必要性は認識している。今後、関係各

課と連携しながら検討していきたい。

問 市内事業者を対象としたアンケート結果をどう分析し、どう施策へ反映していくか。

答 人手不足や販路拡大など多くの課題が寄せられた。それらを整理し、優先順位をつけ施策の方向性を定める。結果は今後の基礎資料として活用したい。

問 産業支援の体制として商工会と市の連携が重要だが、現在の連携状況や改善の必要性はあるか。

答 定期的な協議を通じ連携しているが、事業者支援の質向上に向け、役割分担や支援体制の再整

理が必要と認識している。

問 静岡県菊川市の「EnGAWA（エンガワ）」のような事業者支援の拠点機能が、本市には存在しない。今後、支援拠点の設置や施設の再整備の可能性はあるか。

答 現時点で明確な整備計画はないが、視察内容や他市の先進事例も踏まえ、検討していく。

問 多様な層による起業への支援が求められているが、市の取組は。

答 現状は一般的な創業支援にとどまっており、層別・課題別の支援は不十分。今後、対象を絞った個別支援制度の構築も視野に入れていく。

■厚生文教委員会

◇厚生文教委員会は、小中学校閉校後の施設活用をテーマに調査を進めてきました。豊明市カラット視察から、多世代文化交流ができる複合施設としての課題をまとめるため、令和7年10月17日に閉会中の継続審査として委員会を開催しました。

問 カラットのような多世代交流の場として学校跡施設を再生できないか。

答 カラットは周辺人口や利便性に恵まれ幅広い世代が利用できる複合施設である。本市は、施設や機能の組合せなど、どの組合せが相乗効果を生むかが重要で、利便性や十分なアクセスの

確保、空きスペースが生じないか等が課題。

問 市民参加プロセスの認識は。

答 学校跡地利活用の検討には、地域住民の意向や意見は重要。

問 民間の力で利用者ニーズに対応する考えは。

答 指定管理者制度が必ずしも利用者ニーズに対応できるとは考えていない。

問 学校跡施設を統廃合する際、全庁横断で対応する専任者を置いた検討委員会の設置が必要と考えるが、市の認識は。

答 組織横断的に検討することは必須と判断し、公共施設マネジメント推進本部を年2回、4つの検討部会を年2～4回開催している。

問 公共施設を統廃合し再生を図る際、利用制限の緩和が必須では。

答 弥富市公共施設の使用料適正化に関する方針の改訂を踏まえ、一般利用との差を設けて営利目的での施設利用は今後段階的に緩和する方針。

問 既存施設の団体登録制度を見直し、誰もが利用可能な施設運営へ移行する考えは。

答 令和6年4月から社会教育施設は、誰でも施設利用可能になっており、施設利用のハードルは低くなった。

以上、質疑を整理し、3つの課題を提言にまとめ、令和7年12月23日、市長に厚生文教委員会として提言書を提出しました。

弥富市議会「出前カフェ」はじめます。

弥富市議会では、毎年「議会カフェ」を行い、市民の皆さんからのご意見を伺ってまいりました。この度は、それに加えて4月より、皆さんの集まる場所まで議員が出かけ、ご意見を伺う「出前カフェ」をはじめます。

- 対象** 弥富市内に在住、在勤、在学する
概ね10人以上で構成された団体、グループ
- 目的** 市民に対する議会への理解と参加意識の促進
- 内容**
 - 議会の仕組み、役割
 - 市政に関するテーマに基づく意見交換
 - 議会改革や議会活動の紹介 など



※「出前カフェ」は申込制となります。開催希望日の概ね2カ月前までに、所定の申込書をご提出ください。内容や日程を確認の上、開催の通知をいたします。
※ご質問やご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。【弥富市議会 ☎(0567) 65-1111】

3月定例会の開催日程(予定)

期日	日程	ケーブルテレビ中継 放映予定	インターネット 配信予定
2月25日(水)	本会議(市長施政方針・議案説明など)	○	○
3月11日(水)	本会議(一般質問)	○	○
12日(木)	本会議(一般質問)	○	○
13日(金)	本会議(議案質疑)	—	○
16日(月)	総務建設委員会	—	○
17日(火)	厚生文教委員会	—	○
18日(水)	予算決算委員会	—	○
19日(木)	委員会予備日	—	○
25日(水)	本会議(委員長報告・討論・採決)	—	○

◆ケーブルテレビ中継
午前9時30分～会議終了まで(録画放映は当日午後7時～放映予定)
(2月25日のみ午前10時～)

◆インターネット配信
開催後、おおよそ10日後(土・日・祝日を除く)より配信予定。
※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

表紙の説明



12月6日、愛・地球博記念公園で「愛知万博20周年記念 第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」が開催されました。
県内54市町村の各代表が一本のたすきをつなぎ、全力で駆け抜けました。練習を重ねた選手たちは力の限り走りきり、市の部30位(1時間48分24秒)でゴールしました。監督と選手が健闘を称えあう姿は、本市のスポーツ振興に大きな意義を感じさせるものでした。